

第258回「学術講演会」のご案内

爽秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

さて今回は2題のテーマで「学術講演会」を開催致します。

現代の産業においては、地球環境問題、地球資源問題を考えずには成り立たない状況にあり、化粧品業界においてもこれらの問題を正しく理解し、日頃の活動に生かしていく必要があります。

講演-1では、衣料用液体洗剤において、新たな環境対応の観点から進化してきた技術開発の経緯について、また講演-2では、資源問題を背景とした技術開発(バイオ技術)により、化粧品にも活用されている原料開発の経緯とその用途開発についてお話を伺います。

皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。 (学術部会A)

記

1. 日時 : 2011年10月27日(木) 13:30~16:30 (13:00~ 受付開始)
2. 場所 : 学士会館(神田) 2F-210号室 (地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照)
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03-3292-5936
3. 講演

【講演-1】 13:30~14:45

『エコ価値を進化させた超濃縮液体洗剤の開発』

花王株式会社 ファブリック & ホームケア ハウスホールド研究所
三宅 登志夫 氏

[要旨]

近年、地球温暖化や資源の枯渇が地球規模的な問題となっており、洗剤メーカーにも新たな視点による環境対応が求められています。

我々は、衣料用液体洗剤において、製品のコンパクト化を実現する「超濃縮化技術」と、すすぎ時に界面活性剤をすばやく洗い流す「高速すすぎ技術」の2つの新技術を開発し、それら技術に基づいた新・超コンパクト液体洗剤「アタックNeo」を2009年に発売いたしました。この洗剤は洗濯全般で排出されるCO₂を大幅に削減するとともに、「優れた洗浄力」だけでなく、「すすぎ回数の低減による、節水、節電、時間短縮」という今までになかった全く新しいお客様価値を提案するものです。本講演では、技術の説明だけでなく、どのような着眼点、発想からこのような技術・商品開発に至ったかに関してもお話しします。

[講師略歴]

1994年 京都大学理学部化学科修士課程修了、同年 花王株式会社に入社。
基礎科学研究所、化粧品研究所を経て、2000年より現職。

【講演-2】 15:00～16:30

『持続可能な社会を目指すデュポン社の挑戦』

デュポン株式会社 インダストリアルバイオサイエンス事業部 マネジャー
賀来 群雄 氏

[要旨]

現在世界規模で我々は大きく三つの問題に直面している、1)人口増加に伴う食糧不足、特に開発途上国における人口増加のスピードは飢餓という深刻な問題になっている、2)石油消費の増加と化石燃料の枯渇、これにより短期的には石油価額の乱高下、長期的には石油価額の高騰化の原因になっている、3)地球温暖化と天候不順、二酸化炭素発生量の削減が急務になっている。これらの問題は複雑でかつ互い関連しており、その解決は急務を要しているが従来の技術と手法だけでは限界がある。デュポンはサイエンスを礎にする会社として、解決策の一つの鍵はバイオ技術の開発と速やかな商業化であると考えている。本講演ではデュポンが最初に商業化に成功した1,3-プロパンジオールの事例を中心にデュポンの環境負荷軽減の技術とその商品例を紹介する。また1,3-プロパンジオールを出発原料とする高分子材料の最新用途例についても紹介する。

[講師略歴]

学歴

1980年3月 大阪大学基礎工学部卒業

1985年3月 京都大学工学部工学研究科博士課程終了 合成化学、高分子合成専攻

職歴

1985年4月～1987年3月 三重大学工学部助手

1987年3月～1994年8月 DuPont Company (アメリカ合衆国デラウェア州)

1994年8月～2010年6月 デュポン株式会社 先端技術研究所

2010年6月～ 現職

担当分野

- イ) 新規高分子の開発、特に超耐熱樹脂、フッ素材料の開発および商品化
- ロ) バイオ高分子微細構造制御手法の開発
- ハ) 生分解樹脂の汎用化研究と用途開発
- ニ) バイオ素材の用途開発

以上

日本化粧品技術者会東京支部 事務局 行
(FAX:03-6431-9126)

第258回 学術講演会(開催日:10月27日)参加申込書

参加者 氏名	該当に○ : 正会員、準会員、シニア会員、相談役・顧問、代理参加
	代理参加の方は、正会員のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL:
	FAX:

◇ 申込方法

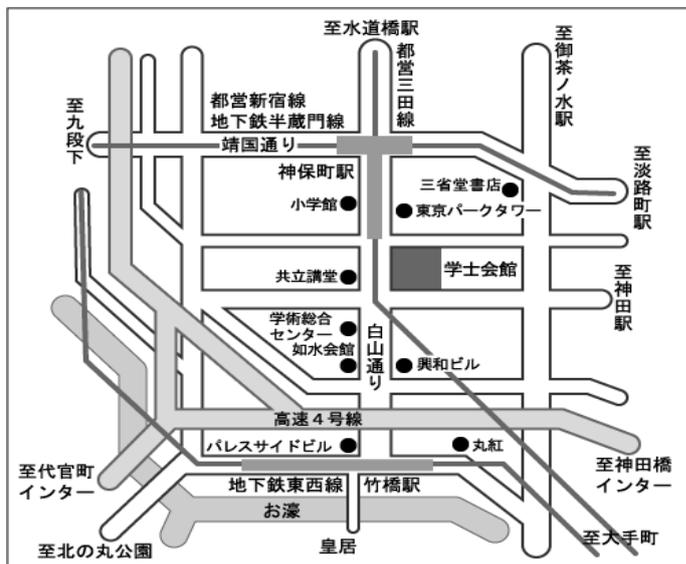
- 本申込書を事務局(03-6431-9126)にFAXして下さい。
- 参加費は無料です。
- 参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡(定員でお断りする場合)がない限り、参加可能です。
- なお、正会員の代理者(1名)の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日:10月21日(金)(厳守)

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇ お問い合わせ先 日本化粧品技術者会事務局(東京支部)(TEL:03-6431-9196)

◇ 会場(学士会館)略図



- ◇地下鉄 都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線 神保町駅下車(A9出口)徒歩30秒
- ◇地下鉄 東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分